

平成 28 年 4 月 11 日  
国立大学法人一橋大学

«シンポジウムのご案内»

### 平成 30 年度第 1 回一橋大学政策フォーラム

#### 「データから見る日本の医療-Evidence Based Policy Making の観点から」

**日 時**：2018 年 5 月 18 日（金）15：00－18：20（受付開始 14：30）  
**会 場**：一橋講堂（〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2 階）  
**主 催**：一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）  
**参加費**：無料（事前申し込みが必要です。申込締め切り 5 月 14 日（月））

一橋大学では、大学の研究成果に基づき政策提言を行うことを目的に「一橋大学政策フォーラム」を開催しています。本フォーラムは、各分野の第一人者や政策の最前線の人たちとの討論を経て、研究成果を研ぎ澄まされた政策提言として発信するものです。

今年度第 1 回目となる今回は、「データから見る日本の医療-Evidence Based Policy Making の観点から」というテーマで、「医療政策・経済研究センター（HIAS Health）」より政策提言を行います。

近年、政府は Evidence Based Policy Making（EBPM-科学的な根拠に基づく政策立案）を推進しており、医療政策の分野も例外ではありません。これまで臨床・疫学的なアプローチが主流であった政策意思決定に、社会科学のエビデンスを加えていくことが増々求められています。今回の政策フォーラムでは、医療法人の財務諸表データ、医療と介護に係る個票データ、中高年縦断調査データ、介護保険事業状況報告 データ、消費者購買データ等を用いた研究成果を紹介し、喫緊の医療政策課題の解決に向けた提言を行います。さらに、パネルディスカッションでは持続可能な医療に向けた EBPM のあり方について、会場のご意見もいただきつつ議論します。

報道関係者の方々におかれましては、本件の趣旨等についてご理解いただき、ぜひ記事を掲載し広く周知していただきますよう、また、ご多忙のこととは存じますが、ぜひご出席賜りますようお願い申し上げます。

プログラム概要（15：00－18：20）※詳細は別添チラシをご覧ください。

- ・学長挨拶 一橋大学長 蓼沼 宏一
- ・講演 1 「財務根拠に基づく診療報酬設定の重要性」 荒井耕 一橋大学大学院経営管理研究科教授
- ・講演 2 「プライマリ・ケアの質をどのように測るのか」  
井伊雅子 一橋大学大学院経済学研究科教授
- ・講演 3 「医療と介護の連携（地域包括支援制度）が医療財政・医療支出に及ぼす効果」  
金子能宏 日本社会事業大学社会福祉学部教授
- ・講演 4 「消費者購買データの分析による健康政策の評価と提言」  
中村良太 一橋大学社会科学高等研究院准教授
- ・パネルディスカッション：司会 佐藤主光 医療政策・経済研究(HIAS Health)センター長  
一橋大学大学院経済学研究科教授

【お申込み】 [http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/event/20180518\\_Policy\\_Forum/](http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/event/20180518_Policy_Forum/)

【お問合せ】 一橋大学社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター（HIAS Health）

電話：042-580-8677（担当 森淳子）

<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/contact/>